

運搬、設置が容易なシカ用簡易大型檻の開発

利用対象：市町、獣害対策協議会

シカの捕獲は、同じ場所で捕獲を続けていると徐々に捕獲効率が落ちるため檻の移設が必要です。捕獲従事者の減少、高齢化を踏まえ、運搬、設置が容易なシカ専用の大型檻を開発しました。

【仕様等】

設置時間は2名で約40分、総重量約130kgであり、金属製の大型囲いわな(5m×5m)との比較で、設置労力が半分程度、総重量は1/3程度です。捕獲は遠隔監視・操作システム(別売)により行い、一度に最大4~5頭程度の捕獲が可能です(表1)。分解して軽トラック1台に積載可能です(図3)。

【構造】

入口面のみが開口した直方体状に編み込まれた樹脂ネットを、鋼管で組んだ枠から磁石で吊り下げる構造です。樹脂ネット入口面上端は金属製のゲートバーに結束し、ゲートバーは永電磁ホルダーで吊り下げます(図1)。

【捕獲方法等】

遠隔監視・操作システムで捕獲指示を出して永電磁ホルダーを開放します。これによりゲートバーが落下し、その重力によって吊下げ磁石も開放され、ネット全体が落下します。ゲートバーは落下時に持ち上げ防止ロックが掛かり逃げられることを防止します。全体が落下することによりシカの動きが制限されるため、そのまま止め刺し作業が可能です(図2)。

【その他】

本檻は(株)試作サポーター四日市、兵庫県立大学、三重県の3者で開発し、特許出願済みであり、2019年度の商品化を目指しています。

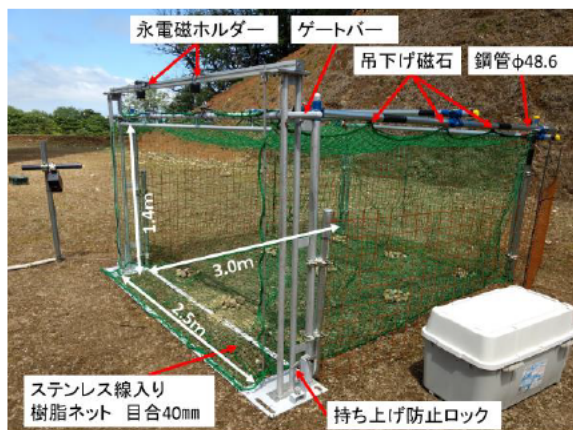


図1 シカ用簡易大型檻の構造



図2 捕獲後の状態と止め刺し

表1 既存の大型檻との比較

	開発機	金属製囲いわな
大きさ(W×D×H)	W2.5m×D3m×H1.7m	W5m×D5m×H2.1m
重さ	約130kg	約400kg
最大捕獲可能頭数	4頭程度	8頭程度
作業人員	2名	3名+補助2名
作業時間	40分	58分



図3 軽トラック積載

お問い合わせ先	生産技術研究室 地域連携研究課 鬼頭敦史 電話 0598-42-6356
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm